

まめなかの

発行責任者
隠岐広域連立立
隠岐病院長
隠岐の島城北町

隠岐病院は皆さんの病院です

七年間のお礼のご挨拶に代えて

（前）隠岐病院長 笠木 重人

四月に入り、私は江津市にある済生会高砂病院で元気に仕事を始めました。七年間のお礼のご挨拶に代えて、万感の思いを込め「まめなかの」に寄稿させていただきます。

I. お医者さんの確保―皆様の熱意が必要―

「よその病院に行くから、隠岐病院はどうなってもいい」、多くの皆様がこう思ってしまうならば、あつという間に隠岐病院からお医者さんがいなくなります。前回のまめなかのに書いたように、いま島根の医師不足は大変な状態です。私が今いる江津では、内科や眼科、泌尿器科、脳外科など、毎年医師が減り診療科の廃止も続いています。そのような中、大学や県の関係者は離島の医療を切り捨てられないと、優先的に隠岐病院に医師派遣を続けています。他地域の医師を削って隠岐に回してくれています。この事実をどうか知っておいて下さい。この四月の診療体制も、そのような関係者の努力でスタートしています。

医師確保は町長や院長の仕事だと他人まかせにすることなく、皆さまお一人お一人の「島に医療が必要なんだ」との熱意が欠かせません。「赤字になるから〇〇科は無くてもいい」、などという無責任な意見は論外です。

II. 隠岐病院の経営―改善していきましょう―

離島の生活に医療は欠かせないため、隠岐病院は赤字になっても医師や看護師等を確保し医療を続けていきます。不足するお金は隠岐の島町や県から「繰り入れ金」という名前でもらっています。その繰り入れ金はH十二年度には七億円も必要でした。それが徐々に減り、H十八年度には実質三億八千万まで減っています。これには近年の職員給与カットの結果のみでなく、経営改革が進み無駄遣いしない病院に抜本的に生まれ変わって来ているからです。経営改革の効果は今後更に明らかになって参ります。ご期待下さい。

III. 隠岐病院―「患者離れ」??

「隠岐病院の外来に行ってみると患者がどんどん減っている、信頼を失っているからだ」と言う人がいました。違います、減ったのではなく減らしているのです、丁寧な外来診療をするために意図的に減らしているのです。現在、お一人お一人を大事にする医療が求められています。以前のような混雑する外来診療は出来ません。また、儲けるために外来患者を増やせという人もいますが、外来患者数のみを単純に増やしても経営は改善しません。経営は他の方法で改善するべき時代です。

その内の一つに、皆さまの信頼を得るといふ方法があります。病院の建物は狭く窮屈だったけど職員さんは親切で安心して入院できたとの褒めの言葉が増えていきます。よその病院とよくよく見比べてみて下さい。小さな病院ですが職員士の士気は高く、良い病院に育っていることに気づいて頂けると幸いです。

IV. 病院の全面建て替えが必要で

昭和五十一年に竣工した現在の建物は、住民運動の熱意もあり当時としては画期的な大英断で建てられたものです。敬意を評すべきものです。しかし現代の医療を提供するには狭すぎます。ゆつたりした病室や食堂、談話室、浴室・

トイレなどが当り前に求められる時代です。狭いことが致命的な建物です。従来からの公共工事の発想を捨て、我が家を建てるのと同じ合理的な金額や考え方によって、経済的な負担の少ない立派な病院を建てるのが出来るようになっていきます。一方、県からの財政支援を受けるためには安易な計画では通用せず、私が今いる石見部の方々に理解される計画立案が必要

V. 最後に。

三月三十一日午後、たくさんの方にお見送りいただき隠岐を出発いたしました。船が岸壁を離れ、親しくしていただいた方々の姿が少しずつ小さくなって行くと、熱いものがこみあげて参りました。折からの強風雷雨が涙を隠してくれました。隠岐病院での七年間、私にとつてはあつという間の短い年月で、真に思い出深い、大切な時間でした。皆さま、本当に本当にありがとうございました。

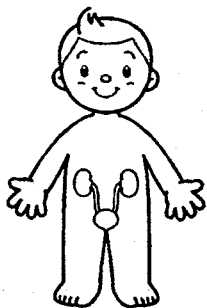
隠岐の、ますますの発展と、皆様のご多幸をお祈り致します。そして、「この島に住む、安心の医療」の理念のもと、病院の職員は日々がんばっています。皆さまの隠岐病院をどうかよろしくお願い致します。



隠岐病院外来担当医一覧表

平成19年4月2日～

| 診療科 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 備考 | |
|----------------------|------------------|---------------|-----------------|-----------------|------------------|---------------|----------------------------|
| 内科 | ①診 | 小出 博己 (再診) | 高橋 佳史 | 小出 博己 (再診) | 小出 博己 (神内) | 角田 耕紀 | (月・水)主に神経内科再診 (木)神経内科初診 |
| | ②診 | 石飛 亮 | 角田 耕紀 (再診) | 成田 泰子 | 成田 泰子 | 石飛 亮 (再診) | |
| | ③診 | 高橋 佳史 (再診) | 成田 泰子 (再診) | 石飛 亮 (再診) | 角田 耕紀 (再診) | 高橋 佳史 (再診) | |
| 下線部医師が初診患者様の対応をいたします | | | | | | | |
| 巡回診療 (午後) | | 武田 (大久・加茂) | | | | | 巡回診療は隔週※別紙 予定表参照 |
| 胃カメラ・胃透視 腹部超音波 | 成田(角田) | 石飛 | 角田 | 高橋 | | | 腹部超音波スクリーニングは 検査技師が毎日実施 |
| 心臓超音波 | 坂田(検査技師) | | | | | | |
| 大腸カメラ | 角田/石飛 /成田 | 角田/石飛 /高橋 | 角田/高橋 成田(都万) | 石飛/高橋 /成田 | | | ※都万→都万診療所か らの医師 |
| 整形外科 | 西口 薫 | 西口 薫 | 門脇 俊 | 西口 薫 | 門脇 俊 | | H18.3より月・水 1診体制 |
| 外科 | 澤 敏治 | 澤 敏治 | 澤 敏治 | 澤 敏治 | 澤 敏治 | | |
| 精神神経科 | 三原 卓巳 | 前田 孝弘 | 三原 卓巳 | 三原 卓巳 | 前田 孝弘 | | |
| 耳鼻咽喉科 | 田中 弘之 (午後診あり) | 田中 弘之 | 田中 弘之 | 田中 弘之 (午後島前) | 田中 弘之 (午後診あり) | | 午後診は、原則として高 校生以下の方を対象 |
| 産婦人科 | 加藤 一郎 | 加藤 一郎 | 加藤 一郎 | 加藤 一郎 | 加藤 一郎 | | |
| 小児科 | 田坂 勝 | 田坂 勝 | 田坂 勝 | 田坂 勝 | 田坂 勝 | | |
| 泌尿器科 | 竹田 昌希 | 竹田 昌希 | 竹田 昌希 | 竹田 昌希 | 竹田 昌希 | | 人工透析 |
| 歯科 | 山崎 理智 | 山崎 理智 | 山崎 理智 | 山崎 理智 | 山崎 理智 | | |
| 眼科 | 三宅賢一郎 | 三宅賢一郎 | 三宅賢一郎 | 三宅賢一郎 | 三宅賢一郎 | | |
| 皮膚科 | 吉田 雄一 | | | 安岐 敏行 | | | 鳥大病院へト診療 |



まめなかの講座開催のお知らせ

「腎・泌尿器科系疾患について」
泌尿器科 竹田昌希先生です。

日時:4月28日 土曜日 14:00～

場所:ふれあいセンター

—多数の方の参加をお待ちしています—